

北上市総合計画 2021～2030 令和4年度基本施策事後評価シート（評価対象期間：令和3年度）

基本方針	1.未来に輝く人づくり
基本施策	1-1.結婚・出産・子育ての希望を叶える
関連するプロジェクト	1.子育て寄り添いプロジェクト

子育て世代に選ばれるまちづくりを進めるため、結婚・妊娠・出産・子育てまでの切れ目ないライフサポートの充実と、乳幼児期の子どもの成長に寄り添う子育て支援の充実に努めます。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価	A
------	---

R4事後
1

No.	担当部等	プロジェクト	推進方針	成果指標	達成状況(対象:R3) (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)	達成状況 評価	達成状況分析(上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)		今後の方向性 (◇:R4に着手予定・着手済み ◆:R5以降の着手を検討)
							内部要因	外部要因	
1	健康こども部	●	子育て世帯の経済的負担の軽減	①	(市民意識調査R3未実施)	A	<p>・給付金の支給及び保育料や副食費の軽減により、子育て世帯への経済的負担軽減が図られた。</p> <p>・給付金の支給により、子育て世帯への経済的負担軽減が図られた。</p> <p>・医療費の一部を負担することで、子育て世帯の経済的負担軽減になっている。</p>	<p>・医療費給付制度は、自治体毎に給付対象者の範囲が異なり、改善を望む声が挙がっている。</p> <p>・子どものうち、小学校入学前の子どもの医療費負担が最も大きい。</p>	<p>◇多子世帯給付金を継続して支給する。</p> <p>◇小学校入学前の子どもの医療費について、令和4年8月診療分から保護者の所得制限を撤廃し、無償化する。</p> <p>・継続して福祉医療費給付制度を実施していくとともに、国に対して全国一律の制度創設を求めていく。</p>
2	健康こども部	●	子どもを希望する夫婦の経済的負担の軽減	①②	<p>妊娠届者のうち、不妊治療をした人の割合は8%台を推移しており、期待値を上回っている。</p> <p>一般不妊治療申請者はR2年度61件、R3年度70件。特定不妊治療申請者はR2年度61件、R3年度93件。どちらの申請件数も増加している。</p>	B	<p>当該割合の増加を維持していくためには息の長い取り組みが必要である。</p> <p>産婦人科医療機関へチラシを配布し、周知しているため、申請者の増加へ有効に作用している</p>	<p>不妊治療費の保険適用が検討されたことにより報道機会が増え、市民の不妊治療に関する認知度が高まった。</p>	<p>◇R4.4～不妊治療費が保健適応になるため、特定不妊治療費助成は10万円に減額して実施。一般不妊治療費助成は継続して実施。</p>
3	健康こども部	●	産後ケア事業の充実	①③④⑤	<p>産後退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができた人の割合、この地域で今後も子育てをしていきたいと思う人の割合、ゆったりとした気分で子供と過ごせる時間があつた人の割合は増加傾向にあり、期待値を上回っている。</p> <p>民間団体と定期的に情報交換を行い、妊娠期からの切れ目のない支援につながった。</p>	A	<p>・産後ケア事業の周知をあらゆる機会を通じて行い、利用者が増加している。</p> <p>・子育て世代包括支援センターとしても保健師や助産師が訪問相談支援を行っている。</p> <p>情報交換会を年3回設定することで、支援が必要な人へ継続して支援を行っている。</p>		<p>◇R4.4～産後ケア事業を以下の内容で拡充。</p> <p>・産後ケアセンターの開設日を2日/週から3日/週に増加。</p> <p>・訪問型産後ケア事業の委託先としてにこにこ助産婦を追加。</p> <p>・生活保護世帯及び非課税世帯の利用料を無料とする。</p> <p>・県産後ケア事業利用促進事業費補助金を活用して、産後ケア事業利用料について実費負担金のみとする。</p>
4	健康こども部	●	産前・産後サポート事業の充実	①	(市民意識調査R3未実施)	B	<p>産前・産後サポート事業を民間団体へ業務委託し、R3年度は年12回延191人参加している。</p> <p>コロナ感染症の拡大等の状況により、集団から少人数制に変更するなどし、相談の機会を減らさないような対応を行った。</p>		<p>◇継続して事業を実施</p>
5	健康こども部	●	保育所等待機児童の解消	①⑥	<p>令和3年度当初の待機児童が0人となった。</p> <p>保育士確保のため、保育士等の保育料減免又は助成、奨学金返還補助、就職支援助成等を実施した。</p>	A	<p>認可外から小規模保育事業所への移行、小規模保育事業所から保育所へ移行、私立幼稚園の認定こども園化により保育の受け皿も拡大した。出生数の減少により保育申込者数が減少した。</p> <p>保育士等への就職支援助成事業等により、雇用の確保の一助になっている。</p>	<p>認可外から小規模保育事業所への移行、小規模保育事業所から保育所へ移行、私立幼稚園の認定こども園化により保育の受け皿も拡大した。出生数の減少により保育申込者数が減少した。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学生対象にこれまで実施してきたPR事業が実施できなかった。</p>	<p>認定こども園等を整備する事業者に対して費用の一部を補助する。</p> <p>保育人材確保事業を継続する。</p> <p>◇R4岩手保健医療大学附属認定こども園整備事業費補助(仮称)立花認定こども園整備事業費補助</p> <p>北上保育園改築事業費補助</p> <p>保育士等就職支援助成金事業等</p>
6	健康こども部		多様な保育ニーズへの対応	①⑦	<p>一時預かり事業の実施施設が増加し6か所となり、乳幼児を一時的に預かる受け皿が充足されている。</p> <p>多様な保育ニーズに対応するため延長保育、病後児保育事業等を実施した。</p>	A	<p>保健・子育て支援複合施設hoKko内に新たに一般型の一時保育室を開設し、利用者が増加した。</p> <p>令和3年度から病後児保育室を北上済生会病院に委託して実施した。</p>	<p>小規模保育事業所による一般型の一時保育室が開所したほか、余裕活用型も4か所となり、利用者が増加した。</p> <p>延長保育は24園で実施、病後児保育はいいとよ保育園で継続のほか、体調不良児対応施設が2か所となった。</p>	<p>◇一時預かり事業、延長保育、病後児保育事業等を継続し、多様な保育ニーズに対応していく。</p>
7	健康こども部		学童保育所の環境整備	①⑧	<p>学童保育所の計画的な整備と指定管理者制度の対象施設の拡大を進める。</p> <p>学童保育の利用を希望する家庭が全て、学童保育所を利用できている。</p>	A	<p>・整備状況について、目標値に対し順調に進められている。</p> <p>・指定管理者制度への移行についても、対応可能なところから順次移行できている。</p> <p>・和式トイレの洋式化を推進し、児童が利用しやすい環境を整備している。</p> <p>・年2回、市の共催で研修会を行い、職員の資質向上に努め、受入れ体制を整えている。</p> <p>・低所得者やひとり親家庭に対する利用者負担の軽減を図り、経済的な面でも利用しやすい環境を整備している。</p>		<p>学童保育所の計画的な整備及び指定管理者制度への移行を継続して進める。</p> <p>◇R4 東部統合学童の整備、指定管理者制度への移行</p> <p>◆R5～ 黒沢尻東学童保育所の建替え</p>

凡例 ●実績値 ○期待値

指標	指標の説明	実績値							期待値							
指標	指標の説明	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
①	北上市市民意識調査 子育て環境の充実度 (子育て環境は充実して いて安心して育児が できると思う率)															
健康こども部	%	実績値	64.1	68.1					期待値	64.1	64.3	64.4	64.6	64.7	64.9	65.0
		備考			未実施											
②	妊娠届数の内、不妊治療により妊娠した妊娠届出数の割合															
健康こども部	%	実績値	5.30	8.9	8.5				期待値	5.3	6.0833	6.8667	7.65	8.4333	9.2167	10
		備考														
③	産後退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができた人の割合(産後4か月頃)															
健康こども部	%	実績値	77.1	84.3	85.3				期待値	77.1	77.9	78.7	79.6	80.4	81.2	82
		備考	H30													R5
④	この地域で今後も子育てをしていきたいと思う人の割合(産後4か月頃)															
健康こども部	%	実績値	54.9	62	60.8				期待値	54.9	55.8	56.6	57.5	58.3	59.2	60
		備考	H30													R5
⑤	ゆったりとした気分で子供と過ごせる時間があった人の割合(産後4か月頃)															
健康こども部	%	実績値	85.7	87.5	89				期待値	85.7	86.4	87.1	87.9	88.6	89.3	90
		備考	H30													R5
⑥	年度当初の待機児童数															
健康こども部	人	実績値	13	1	0				期待値	13	10.8	8.7	6.5	4.3	2.2	0
		備考														
⑦	保護者の疾病やリフレッシュのため、家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について年齢制限なしで一時的に預かる事業所の数。															
健康こども部	箇所	実績値	1	2	6				期待値	1.0	1.2	1.3	1.5	1.7	1.8	2
		備考														
⑧	子ども・子育て支援事業計画に基づく学童保育所の施設整備数															
健康こども部	箇所	実績値	3	3	4				期待値	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6
		備考														
⑨																
⑩																
⑪																
⑫																
⑬																
⑭																
⑮																